



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	20,663.22	-65.27	-0.31	0.32	4.56	19,762.60
NASDAQ	5,911.74	-2.61	-0.04	1.42	9.82	5,383.12
日経225	18,909.26	-153.96	-0.81	-1.83	-1.07	19,114.37
上海総合	3,222.51	12.28	0.38	-1.44	3.83	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,456.05	19.29	0.56	-0.96	4.41	3,310.08
ハンセン	24,111.59	-189.50	-0.78	-1.01	9.60	22,000.56
H株	10,273.67	-82.04	-0.79	-1.95	9.35	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.0%安と4週ぶりに反落、上海総合指数は1.4%安

香港市場ではハンセン指数が週間で1.0%安と4週ぶりに反落。香港上場企業の期末決算の発表が終盤を迎えるなか、業績を手掛かりとした個別物色が相場を支えたものの、全般に相場の押し上げ材料に乏しく、投資家の見送り姿勢が目立った。本土市場では上海総合指数が週間で1.4%安と3週ぶりに反落。1-2月の工業企業利益や3月の製造業PMIなど強い経済指標の発表にも反応は鈍く、中国人民銀行による公開市場操作の見送りが続くなか、資金ひっ迫懸念から総じて軟調な展開が続いた。

今週の展望:香港市場は神経質な展開か、週後半の米中首脳会談が焦点

香港市場は神経質な展開が見込まれる。今週は4日が清明節で休場のため4日間の取引。FOMC議事要旨や米雇用統計が発表されるほか、6-7日には習近平国家主席が米国を公式訪問し、トランプ米大統領との首脳会談に望む。通商問題をめぐりすでに激しい駆け引きが始まっており、会談の結果を見極めるまでは慎重姿勢が続く。一方、本土市場は3-4日が休場のため3日間の取引。河北省の新区建設計画や7つの自由貿易試験区の正式認可などプラス材料はあるが、米中首脳会談を控え神経質な展開となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国蒙牛乳業 (02319)	16.10	5.50
2 レボグループ (00992)	5.12	4.28
3 中国旺旺 (00151)	5.38	4.26
4 招商局港口 (00144)	22.75	3.17
5 Link REIT (00823)	54.45	2.83
6 サズ・チャイナ (01928)	36.00	2.71
7 銀河娛樂 (00027)	42.55	2.28
8 香港鐵路 (00066)	43.65	1.63
9 シバック (00386)	6.30	1.61
10 ホンコン・チャイナガス (00003)	15.54	0.91

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	90.95	-7.19
2 中国海外発展 (00688)	22.20	-6.53
3 華潤置地 (01109)	21.00	-6.46
4 恒安国際集団 (01044)	57.80	-3.43
5 長江実業地産 (01113)	52.35	-3.41
6 ワーフ (00004)	66.70	-3.33
7 吉利汽車 (00175)	11.90	-3.09
8 中国神華能源 (01088)	18.04	-2.80
9 恒隆地産 (00101)	20.20	-2.42
10 長江和記実業 (00001)	95.60	-2.25

▼今週の主なイベント

- 4月3日(月)
- 【中国】清明節で休場(4日まで)
- 4月4日(火)
- 【香港】清明節で休場
- 4月6日(木)
- 【中国】習近平国家主席訪米(7日まで)

▼今週の期待材料

- ◆ 国務院が河北省雄安新区の建設計画を発表、深セン経済特区、上海浦東新区に次ぐ全国規模の新区に
- ◆ 国務院が遼寧省や浙江省などに7つの自由貿易試験区を設置する計画を正式に認可
- ◆ 国家統計局発表の3月の製造業PMIは市場予想を上回る51.8、非製造業PMIは2年10カ月ぶり高水準

▼今週の懸念材料

- ◆ 3月末までに発表した中国A株企業の期末決算は売上高が全体で前年比3.4%増、純利益が1.6%増と低調
- ◆ 6-7日に中国の習近平国家主席が訪米、トランプ米大統領は通商問題で中国側を強くけん制
- ◆ 中国人民銀行が常備貸出制度の金利を引き上げ、公開市場操作の見送りも続き金融政策は引き締め気味に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 北京控股 (00392) : 16年本決算は10%増益、市場予想を若干上回る
- ☆ 北京首都国際機場 (00694) : 空港の費用徴収基準を見直し、収益拡大要因に
- ☆ 中聯重科 (01157) : 国務院が河北省での新区建設計画を発表、建設需要拡大で恩恵
- ☆ エン州煤業 (01171) : 16年本決算は純利益10倍に拡大、石炭価格の上昇が寄与
- ☆ 匯源果汁 (01886) : 16年本決算は3期ぶり黒字転換、自社株買い計画も発表
- ☆ 北京金隅 (02009) : 国務院が河北省での新区建設計画を発表、建設需要拡大で恩恵
- ☆ 中銀香港 (02388) : 16年本決算は純利益2.1倍、市場予想上回る
- ☆ 広州富力地産 (02777) : 3月の不動産販売額は81.3億元、前月比で97%増加
- ☆ 遠洋集団 (03377) : 3月の不動産販売額は104%増加、販売面積は37%増
- ★ 中国銀行 (03988) : 16年本決算は市場予想下回る4%減益、上場来初の通期減益決算

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。